

受賞を契機に新たに取り組んでいること

1. 平成23年度の町内会活動

今年度の町内会行事は従来行事と趣をかえて、次の様な新規行事に取り組んだ。

1) 西公園園遊会

町内西側に隣接する西緑地公園(町内の町づくりの会の働きかけで日本式庭園となっている。)で初めてのバーベキュー会を平成23年5月15日(日)に開催した。これには百道浜小学校の父兄有志で結成された「おやじの会」の参加協力を得て、約50名の町民が参加した。天気にも恵まれ園遊会として盛会で、再開催を望む声が多かった。

2) マリエラクルーズ懇親会

例年の博多座での歌舞伎鑑賞に替えて、平成23年10月23日(日)に博多湾を周遊するマリエラ船上で昼食会の懇親会(ランチクルーズ)を実施した。参加者は27名であったが、ベイサイドの我が町を甲板上から眺めながら、おいしいランチで大満足の2時間のクルーズであった。

3) 建築・緑地協定の更新

今年度は両協定の更新時期にあたり、A、B両地区で更新作業にあたった。協定内容を統一する事はできず若干の空白期間も生じたが、A地区は平成23年12月18日に協定が再発効し、B地区も平成24年1月12日に協定が再発効した。協定の締結率はそれぞれ80%、76%となり、隣接地の増加がみられた。

4) その他

福岡市の助成金を受けて作られた花壇が10年以上経過したので、花壇枠をすべて新規に設置しなおした。

2. 住まいのまちなみ賞委員会の活動

平成23年6月2日:第6回すまいのまちなみコンクール表彰式に当町から2名出席し、また第3回すまいのまちなみネットワーク(まちネット)総会にも参加した。過去の受賞団体との交流・懇親を深めることが出来、今後の町づくりに多大の支援を受けることができる本当に有意義な交流会であった。

昨年度の建築協定に関するアンケート結果を取り入れて、九州大学の都市・建築学の先生方の協力を得て『百道浜物語—序章—』を発行する事ができた。町内を含め約350部を配布したが、現在続編となる『百道浜物語—本章—』の作成に取り組んでいる。

以上の活動のため下記のように委員会を開催したが、九州大学からの支援の他開発業者である積水ハウスからも参加を得て討議した。

- | | |
|--------|------------|
| 第1回委員会 | 平成23年4月19日 |
| 第2回委員会 | 平成23年5月17日 |
| 第3回委員会 | 平成23年9月22日 |
| 第4回委員会 | 平成24年2月27日 |



3. 調査検討費の使途(平成23年度)

- ・表彰式交通費 (2名)
- ・交流事業 (青葉台ぼんえるふ訪問)
- ・百道浜物語—序章—配布送料
- ・百道浜物語—本章—作成委託費
- ・町の安全調査検討費
- ・柴田先生交通費
- ・委員長年間活動費
- ・会議費

近い将来取り組まなければならない課題

1) 交流事業の推進

北九州の青葉台ぼんえるふ自治会やコモンライフ新宮浜団地自治会との交流事業は始まったばかりなので、今後一層の交流を深めていきたい。また更に多くの受賞団体とも交流を深めていきたい。

2) 建築協定内容の浸透

建築・緑地協定は更新されたが区画所有者の変更も多く、今後も協定内容の周知徹底を図っていかなければならない。このためにも協定内容を図示しながら、分かりやすく解説する手引き書を作成していきたい。

3) 安全・安心の町づくり

開かれた町まちづくりをめざす我が町であるが、タウンセキュリティも重要な課題である。防災・防犯への調査活動を含め、災害時の避難や災害弱者への支援活動について、校区の委員会と連携しながらその整備について調査していく事や、開放されたまちなみ作りや防犯カメラの運用マニュアルなどについても調査して行きたい。